

さいたま市岩槻区で確認されたニホンカナヘビの黒化型

藤田宏之（川の博物館）、小峯 昇（NPO 法人自然観察指導員埼玉）

はじめに

ニホンカナヘビ *Takydromus tachydromoides* は、北海道・本州・四国・九州とその属島、屋久島、種子島、中之島、諏訪之瀬島などに分布し（竹中，1996）、埼玉県内でも住宅地から山地まで広く分布している（埼玉県立川の博物館，2017）。身近な環境でも生息し、普通に見られる有隣目トカゲ亜目カナヘビ科の爬虫類である。本稿ではさいたま市岩槻区にて背面、側面が黒色の色彩変異個体が確認されたことを記録する。

黒化型の記録

埼玉県さいたま市岩槻区西原台地区内の民家の敷地内にて、2005年、2013年、2014年の3回にわたり同所的に背面、側面が黒色の色彩変異個体が記録された。

- ① 2005年6月12日 成体（脱皮柄が付着していた）
- ② 2013年7月22日 幼体（卵殻を被っていた）
- ③ 2014年6月9日 成体（脱皮柄が付着していた）

考 察

ニホンカナヘビの体色について、一般的に背面は褐色または暗灰褐色で、個体によって多少青みを帯びていることがある（中村・上野，1963）。また、側面は茶色で眼下から耳孔、肩部を通過して側部に1本の白条がある（竹中，1996）。今回確認された個体はいずれも体色が背面、側面ともに黒一色であり、成体は特徴のひとつである側部の白条がみとめられず、色彩変異個体と考えられる。

黒化型といわれる色彩変異個体が出現するのは、日本国内に分布する爬虫類ではヘビ亜目のシマヘビ *Elaphe quadrivirgata* が「からすへび」の名で知られ（千石，1996）、さまざまなパターンの出現があることも知られている（森ほか，2005）。また、カメ目ではクサガメ *Mauremys reevesii* の6歳以上のオスで

黒化する事象がある（Yabe, 1994）。

トカゲ亜目ではニホントカゲ（現ヒガシニホントカゲ）の黒化型の報告（秋山，2009）があるが、ニホンカナヘビの黒化型の記録は滋賀県長浜市の個体（関，2016）やインターネットのSNS上で写真が紹介されているのみで詳細な文献資料はみられない。また、埼玉県立川の博物館では2014年に埼玉県全域を対象に爬虫類の市民調査を実施した時も、ニホンカナヘビは県内広域から情報が寄せられ、最も情報の数が多かった（藤田，2015）。その際でも埼玉県での黒化型の記録は得られなかったことから、県内では初の記録の可能性が高い。ニホンカナヘビは琉球列島除く日本国内では、身近にみられる爬虫類としてなじみがあり、昼間に公園、住宅地、学校の敷地内など人目に触れやすい環境にも生息し、文献資料のみならず、インターネットのSNS上でも多数の事例が紹介されている。しかも色彩変異個体は注目度が高いことから、記録が残る可能性が高いと考えられる。しかしながら黒化型の記録はごくわずかであり、出現頻度は低いと考えられる。

2005年に黒化型が確認されて約8年後の2013年に幼体、さらに9年後の2014年に成体が確認されている。ただし、2013年の幼体と2014年の成体は同一個体の可能性がある。長期間における3件ではあるが、同所的に記録されていることからこの場所では黒化型の遺伝子頻度が比較的高い可能性も考えられる。

謝 辞

本稿の作成にあたり、竹中踐博士にはご指導・ご助言をいただいた。徳田龍弘氏、寺岡誠二氏、大淵希郷氏には記録に関する情報をいただいた。謝意を申し上げます。

参考文献

- 秋山幸也（2009）ニホントカゲの黒色変異個体．爬虫両棲類学会報2009（2），138-139
藤田宏之（2015）市民調査による埼玉県爬虫

類マップの作成. 日本生態学会第62回全国大会 講演要旨.

森 哲, 田中幸治, 森口 一, 長谷川雅美 (2005) 日本全国におけるシマヘビの色彩変異. 爬虫両棲類学会報2005 (1), 22-38.
中村健児, 上野俊一 (1963) カナヘビ. 原色日本両生爬虫類図鑑. 保育社, 大阪, pp132-132.

埼玉県立川の博物館 (2017) みんなでしらべた埼玉県の爬虫類 埼玉県爬虫類 MAP. 玉川立川の博物館.

関 慎太郎 (2016) 野外観察のための日本産

爬虫類図鑑. 緑書房, 東京.

千石正一 (1996) シマヘビ. 日本動物大百科5両生類・爬虫類・軟骨魚類. 平凡社, 東京, pp86-88.

竹中 踐 (1996) ニホンカナヘビ. 日本動物大百科5両生類・爬虫類・軟骨魚類. 平凡社, 東京, pp82.

Yabe, (1994) Population Structure and Male Melanism in the Reeves' Turtle, *Chinemys reevesii*. Japanese Journal of Herpetology, 15 (4):131-137.



写真1 : 2005年 6 月12日に確認された成体



写真2 : 2013年 7 月22日に確認された幼体



写真3 : 2014年 6 月 9 日に確認された成体